



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月14日

上場会社名 株式会社アスモ 上場取引所 東
 コード番号 2654 URL http://www.asmo1.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長井 尊
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室 (氏名) 重清 安雄 (TEL) 03-6911-0550
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	4,758	6.1	213	22.7	217	29.4	168	107.0
29年3月期第1四半期	4,486	1.8	174	60.3	167	47.8	81	△5.8

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 162百万円(407.5%) 29年3月期第1四半期 32百万円(△67.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	1.20	—
29年3月期第1四半期	0.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	6,838	4,631	65.9
29年3月期	6,638	4,609	67.5

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 4,508百万円 29年3月期 4,483百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	0.00	—	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,400	3.7	400	4.3	405	6.3	285	6.6	2.03
通期	18,730	2.3	930	2.3	940	1.5	610	2.5	4.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期1Q	151,451,750株	29年3月期	151,451,750株
30年3月期1Q	11,244,049株	29年3月期	11,244,049株
30年3月期1Q	140,207,701株	29年3月期1Q	140,207,701株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び実績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用環境の改善に伴い緩やかな回復基調がみられた一方、米国新政権の政策動向による日本経済への影響に対する懸念材料等があり先行不透明な状況で推移しました。

このような状況の下、当社グループは、お客様の利便性等を追求することで購買機会の増加・シェアの拡大を図ってまいりました。今後におきましては、シェアの拡大によるスケールメリットを発揮することで各種コストの見直しを図り、利益の確保に努めてまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高4,758百万円（前年同四半期比 6.1%増）、営業利益213百万円（前年同四半期比 22.7%増）、経常利益217百万円（前年同四半期比 29.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、168百万円（前年同四半期比 107.0%増）となりました。

主な事業別の状況は次のとおりであります。

セグメント名称 (セグメントに該当する会社)	主要な事業の内容	
アスモ事業 (株式会社アスモ)	グループ会社の統制・管理、不動産賃貸	
アスモトレーディング事業 (株式会社アスモトレーディング)	食肉の輸出入、食肉及び食肉加工品の販売	
アスモフードサービス事業 (株式会社アスモフードサービス) (株式会社アスモフードサービス首都圏) (株式会社アスモフードサービス東日本) (株式会社アスモフードサービス中日本) (株式会社アスモフードサービス西日本)	高齢者介護施設等における給食の提供	
アスモ介護サービス事業 (株式会社アスモ介護サービス) (株式会社アスモライフサービス)	訪問・居宅介護事業所の運営、有料老人ホームの運営	
ASMO CATERING (HK) 事業 (ASMO CATERING (HK) CO., LIMITED)	香港における外食店舗の運営	
その他	(サーバントラスト信託株式会社)	管理型信託商品の販売
	(アスモ少額短期保険株式会社)	少額短期保険商品の販売
	(ASMO CATERING (TAIWAN) COMPANY LIMITED)	台湾における外食店舗の運営

① アスモトレーディング事業

アスモトレーディング事業におきましては、物流費の上昇や販売競争の激化により、依然として厳しい経営環境が続きました。

このような中、前期に引き続き順調に伸びております収益力の高いメキシコ産チルド牛肉に注力し、これまでの2週連続仕入、1週休みの仕入ペースから毎週コンスタントの仕入れに切り替えたことにより、一層の安定供給と販売ができるようになりました。

また、通販事業におきましても、贈答やイベント関連分野の顧客開拓が功を奏し、着実に売上を伸ばしてきました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は793百万円（前年同四半期比 12.4%増）、セグメント利益（営業利益）は11百万円（前年同四半期比 33.7%減）となりました。

今後もメキシコ産チルド牛肉、通販事業に続き、オリジナル製品の開拓をし、エンドユーザーの見える顧客開拓を推進し、より安定的な利益確保をまいります。

② アスモフードサービス事業

アスモフードサービス事業におきましては、売上高、営業利益は比較的堅調に推移いたしました。一方で、利益率向上のための不採算受託施設の契約解除を並行して実施したことにより、当第1四半期連結会計期間末時点における受託施設数は292施設（前年同四半期末は295施設）となっております。

また、商材の調達やメニュー開発、様々なイベント及び行事において、従来培った〈食〉のノウハウを活用することで、提供商品（給食）における付加価値を創出し、他社との差別化を図り、クオリティの向上に取り組んでおります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,882百万円（前年同四半期比 1.3%減）、セグメント利益（営業利益）は、145百万円（前年同四半期比 49.5%増）となりました。

今後におきましても、堅実に増収増益を維持できるよう、基盤の強化に努めてまいります。

また、現在、全事業所へタブレット端末を導入し、販売管理のシステム化を進めております。ペーパーレス化による業務の効率化を実現し、今後は全事業所をシステムで繋ぐ事により、従業員にとって仕事がし易く働き易い環境作りを行ってまいります。

③ アスモ介護サービス事業

アスモ介護サービス事業におきましては、訪問介護事業所、居宅介護支援事業所および有料老人ホーム運営事業を営んでおり、当第1四半期連結累計期間につきましては、2015年4月の介護保険法の改正による介護報酬大幅減、恒常的な人手不足に伴う人件費の上昇など、足元・先行きとも非常に厳しい状況で推移しております。

このため、介護サービスをご利用いただける機会を増やすことを目的に事業所の開設・見直しを推進し、平成29年4月に5施設目、6月に6施設目となる有料老人ホームを開設するとともに1事業所を閉鎖致しました。当第1四半期連結会計期間末現在、訪問介護事業所37事業所（前年同四半期末は38事業所）、居宅支援事業所12事業所（前年同四半期末は12事業所）となり、支援させていただいておりますご契約者様は、1,766名（前年同四半期末は1,678名）。有料老人ホーム6施設（前年同四半期末は3施設）、ご入居者様数は165名（前年同四半期末は81名）となりました。

また、平成29年度介護報酬改定に伴い、介護職員処遇改善加算Ⅰを新たに取得した事が増収要因となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,354百万円（前年同四半期比 15.6%増）、セグメント利益（営業利益）は、103百万円（前年同四半期比 6.9%減）となりました。

今後ともご利用者の獲得に努めていくとともに、介護人材育成に注力していくことで、より良い人材の確保と定着率向上に努め、介護サービスの質の向上を図ってまいります。

④ ASMO CATERING (HK) 事業

ASMO CATERING(HK)事業におきましては、特に既存店において厳しい状況が続いておりますが、6月度において湾仔店の改装及び店名変更(銀座蔵人から銀座神楽屋へ)に伴い、以前から実施しておりますディナーのオーダービュッフェに新たにしゃぶしゃぶメニューも加えて大幅なリニューアルを実施しております。

今助店におきましては、同じく6月度よりグランドメニューを全て見直し、特に主力のうどんメニューには新たに『豚肉ゆず胡椒あんかけうどん』、『とり鍋焼きうどん』を新たにに加え、新しいうどんの食べ方の提案ということで『肉汁つけうどん』や『辛みそつけうどん』なども導入しております。

また、香港のローカル日系スーパーである一田百貨店の9店目となる新店の將軍澳に、当社の新たなブランド『都島屋』を出店致します。これまでのお好み焼き、たこ焼きなどを中心とした大阪粉モノ屋『匠工房 秀吉』に、新たにパンケーキやソフトクリームなどのスイーツを強化した新たなショップです。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、552百万円(前年同四半期比 6.9%増)、セグメント損失(営業損失)は、△5百万円(前年同四半期は△1百万円)となりました。

⑤ その他の事業

a. サーバントラスト信託株式会社

その他セグメントに含めておりますサーバントラスト信託株式会社は、管理型信託事業を営んでおり、信託事業では、「特定贈与信託」「ペット飼育費保全信託」「老い支度サポート信託(遺言代用信託を含む)」「不動産管理信託」などの個人向け信託商品のほか、「葬儀費用保全信託」「顧客分別金保全信託」「不動産証券化信託」「エスクロー信託」などの法人向けの信託商品の販売に努めました。従前からの継続的な営業活動による成果が着実に積み上がり、信託契約件数も徐々に増えてまいりました。

引き続き、積極的な営業活動を行っていくとともに、グループ主要事業である介護事業とのシナジーを図りながら、新規信託契約の獲得ならびに売上増加に努めてまいります。

b. アスモ少額短期保険株式会社

その他セグメントに含めておりますアスモ少額短期保険株式会社は、少額短期保険事業を展開しており、生命保険商品3種類(生命定期保険、入院保障付生命定期保険、無選択型生命保険)と損害保険商品(高齢者施設入居者家財保険)を販売しています。

生命保険商品はプロ代理店等による対面販売、インターネット・広告等による通信販売により提供しています。商品毎、販売チャネル毎に収支を常に分析することにより、良好な保険収支を維持しています。

損害保険商品「転ばぬ先の杖」(高齢者施設入居者家財保険)は有料老人ホームを代理店化し、入居者にお勧めしています。大手有料老人ホームとの連携も進んできており、販売の伸びを見込んでいます。

c. ASMO CATERING(TAIWAN)COMPANY LIMITED

その他セグメントに含めておりますASMO CATERING(TAIWAN)COMPANY LIMITEDは、昨期までレストラン店舗の『日本料理 今助』、フードコートショップの『彩井屋』と『神戸 北の坂』の三店舗でしたが、オープン以来採算にのせることができていなかった『神戸 北の坂』を昨期の2月末で閉店し、今期より二店舗体制にて運営しております。

その他の労務費、間接的な人件費などの削減を行い、下期までには2店舗体制で黒字化を達成でき得る筋肉体質に戻してから、今後は『日本料理 今助』を中心に再度出店でき得る体制にしております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、174百万円(前年同四半期比 4.3%減)、セグメント利益(営業利益)は、1百万円(前年同四半期はセグメント損失△0百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は6,838百万円となり、前連結会計年度末に比べ199百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が51百万円、受取手形及び売掛金が100百万円、商品が44百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は2,206百万円となり、前連結会計年度末に比べ176百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が42百万円、流動負債「その他」に含まれている未払金80百万円、流動負債「その他」に含まれている介護施設の入居申し込み時における一時預り金が77百万円増加し、未払法人税等が88百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は4,631百万円となり、前連結会計年度末に比べ22百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が28百万円増加したことによるものであります。

この結果、この結果、自己資本比率は65.9%（前連結会計年度末は67.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月12日「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,666,659	2,717,889
受取手形及び売掛金	1,887,235	1,988,087
商品	260,375	305,336
貯蔵品	16,370	14,415
その他	515,160	538,090
貸倒引当金	△37,308	△37,030
流動資産合計	5,308,493	5,526,787
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	246,478	232,609
有形固定資産合計	246,478	232,609
無形固定資産		
のれん	34,760	29,794
その他	52,419	49,160
無形固定資産合計	87,179	78,954
投資その他の資産		
その他	1,311,123	1,314,102
貸倒引当金	△314,419	△314,389
投資その他の資産合計	996,704	999,712
固定資産合計	1,330,361	1,311,277
資産合計	6,638,855	6,838,064

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	463,053	505,484
短期借入金	—	50,000
未払法人税等	126,032	37,722
賞与引当金	185,566	143,256
その他	1,066,674	1,279,137
流動負債合計	1,841,327	2,015,601
固定負債		
退職給付に係る負債	144,457	150,707
その他	43,723	40,159
固定負債合計	188,180	190,867
負債合計	2,029,507	2,206,469
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,323,272	2,323,272
利益剰余金	2,075,538	2,104,056
自己株式	△42,448	△42,448
株主資本合計	4,356,361	4,384,880
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△147	193
為替換算調整勘定	121,071	118,237
退職給付に係る調整累計額	6,267	4,700
その他の包括利益累計額合計	127,191	123,131
非支配株主持分	125,794	123,584
純資産合計	4,609,347	4,631,595
負債純資産合計	6,638,855	6,838,064

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	4,486,108	4,758,700
売上原価	3,451,786	3,658,300
売上総利益	1,034,322	1,100,399
販売費及び一般管理費	860,215	886,762
営業利益	174,106	213,637
営業外収益		
受取利息	1,259	1,747
助成金収入	1,600	—
その他	774	2,719
営業外収益合計	3,633	4,467
営業外費用		
支払利息	258	241
為替差損	9,510	288
貸倒引当金繰入額	△30	△30
その他	115	284
営業外費用合計	9,855	784
経常利益	167,885	217,319
特別損失		
固定資産除却損	0	90
特別損失合計	0	90
税金等調整前四半期純利益	167,885	217,229
法人税、住民税及び事業税	4,754	2,640
法人税等調整額	84,289	47,299
法人税等合計	89,043	49,939
四半期純利益	78,841	167,289
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,656	△1,436
親会社株主に帰属する四半期純利益	81,498	168,725

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	78,841	167,289
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	312	340
為替換算調整勘定	△51,729	△3,607
退職給付に係る調整額	4,583	△1,566
その他の包括利益合計	△46,833	△4,833
四半期包括利益	32,008	162,455
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	45,536	164,665
非支配株主に係る四半期包括利益	△13,528	△2,209

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					計
	アスモ 事業	アスモトレ ーディング 事業	アスモフー ドサービス 事業	アスモ介護 サービス 事業	ASMO CATERING (HK)事業	
売上高						
外部顧客への売上高	1,275	706,169	1,907,788	1,171,518	517,148	4,303,899
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	17,887	25,951	—	—	43,839
計	1,275	724,057	1,933,740	1,171,518	517,148	4,347,738
セグメント利益又は損失(△)	△47,992	16,802	97,276	110,838	△1,890	175,034

(単位：千円)

	その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高				
外部顧客への売上高	182,209	4,486,108	—	4,486,108
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	43,839	△43,839	—
計	182,209	4,529,948	△43,839	4,486,108
セグメント利益又は損失(△)	△614	174,420	△314	174,106

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	175,034
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△614
セグメント間取引消去	△314
四半期連結損益計算書の営業利益	174,106

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					計
	アスモ事業	アスモトレーディング事業	アスモフードサービス事業	アスモ介護サービス事業	ASMO CATERING (HK) 事業	
売上高						
外部顧客への売上高	1,188	793,687	1,882,067	1,354,344	552,972	4,584,259
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	12,315	40,660	—	—	52,976
計	1,188	806,003	1,922,728	1,354,344	552,972	4,637,236
セグメント利益又は損失(△)	△42,199	11,144	145,403	103,154	△5,003	212,499

(単位:千円)

	その他(注)	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
売上高				
外部顧客への売上高	174,440	4,758,700	—	4,758,700
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	52,976	△52,976	—
計	174,440	4,811,677	△52,976	4,758,700
セグメント利益又は損失(△)	1,066	213,565	71	213,637

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	212,499
「その他」の区分の利益	1,066
セグメント間取引消去	71
四半期連結損益計算書の営業利益	213,637

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。